

2022年8月分 東イン様 サステナブルレポート

7月の廃棄物処理状況をご報告します。

①マテリアルリサイクル（再生原料）	26.5 m ³
②サーマルリサイクル（RPF燃料）	3,980 kg ※1
③サーマルリサイクル（発電燃料）	4 m ³
④リサイクル不可品（埋立処分）	1 m ³

8月の回収分はマテリアルおよびサーマルリサイクルを高比率で達成しました。

リサイクル不可品は1m³と最小限に抑え環境負荷低減に貢献。今月より新たに③に記載した発電利用を追加。こちらは袋物で細かく可燃系廃棄物が混在していて分別困難な廃棄物が対象となります。



※1 RPF燃料とはプラスチックや古紙を主原料とした高品位の固形燃料です。

RPFは石炭やコークス等の化石燃料の代替として、大手製紙会社・鉄鋼会社・石灰会社などの多くの産業で利用されます。

化石燃料使用削減によりCO2削減効果や、灰化率が石炭に比べ1/3以下と灰処理の負担も軽減。

石炭に比べ1/4～1/3という低価格な再生可能エネルギーとして有効活用されています。

株式会社フォーメーション 志賀 隆蔵 2022.10.3

廃棄物処理を通じ御社SDGs貢献につなげられるよう取り組んでおります。